

令和3年度

病害虫発生予察情報

第 14 号

注意報第7号

道北海道病害虫防除所 令和3年7月28日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel: 0123(89)2080・Fax: 0123(89)2082

水稻のアカヒゲホソミドリカスミカメが多発

高温経過で加害が活発化！

発生モニタリングを励行し、適切に追加防除を実施しよう

アカヒゲホソミドリカスミカメは、斑点米発生の主要原因となるカメムシです。主に水稻の出穂以降に畦畔や雑草地などから第2回成虫が水田内に侵入します。その後、水田内では第2回成虫や第3回幼虫・成虫が籾を吸汁加害して斑点米を発生させます。

本年は、予察灯による第2回成虫の発生が、長沼町、比布町、北斗市いずれの地点においても7月中旬に増加しました。また、水田内に設置したフェロモントラップについても7月中旬に平年を上回る捕獲が認められており、カメムシの発生量が多いことに加えて、水田内への侵入活動も活発であることが確認されています。

水稻の生育は平年よりやや早く、現在、出穂期に到達した地域では基幹防除実施時期を迎えています。すでにカメムシの密度は高まっており、これらの地域においても今後追加防除も必要となる可能性があります。

また、札幌管区气象台発表の7月22日付け1か月予報によると、8月の前半は気温がかなり高く、降水量は日本海側で平年より少ないと予報されています。当面、高温少雨状態が続くと見込まれることから、今後、水田内への侵入活動、水田内における加害活動ともに活発化することが危惧されます。

以上のことから、基幹防除実施以降の追加防除は、例年に増して重要であると考えられます。水田内のすくい取りやフェロモントラップによるモニタリングを励行し、適切な茎葉散布による防除を実施してください。

1. 発生地域 全道

2. 発生量 多

3. 注意報発令の根拠

- (1) 予察灯における成虫誘殺数は、比布町及び北斗市では7月3半旬以降平年より多く推移している。長沼町及び北斗市では7月4半旬に急増した(表1)。
- (2) 予察田内に設置したフェロモントラップ捕獲数は、北斗市では7月3半旬以降平年より多く推移している。長沼町及び比布町では7月4半旬に平年より多く捕獲された(表2)。
- (3) 一般田における7月3半旬の巡回調査では、7月15日現在、水田すくい取りで「ゆめぴりか」、「きらら397」における追加散布の基準である捕獲頭数2頭以上となる地点は、全75地点中、空知、石狩、後志、上川、留萌地方において計13地点に達している。
- (4) 7月22日付け札幌管区气象台発表の1か月予報によると、期間の前半は気温がかなり高く、また、期間のはじめは降水量の少ない状態が続くと予報されている。
- (5) そのため、今後水田内への侵入活動、水田内における加害活動ともに活発化することが危惧される。

4. 防除対策

- (1) 基幹防除に引き続き、以下のとおり発生モニタリングを行い、追加防除の可否を判断する。
- ① 基幹防除に茎葉散布を実施した場合には、2回目散布の5～7日後に水田内のすくい取りを行う。20回振りあたりの捕獲頭数が「きたくりん」、「吟風」では3頭、「ゆめぴりか」、「きらら397」では2頭、「ななつぼし」、「ほしのゆめ」では1頭に達した場合に追加防除を実施する。その後も、上記水準を下回るまで、7～10日間隔で同様の調査とその結果に基づいた追加防除を継続する。
 - ② 上記基準は、出穂7日後以降7日間ごとのフェロモントラップによる合計捕獲虫数（同一区域内に設置した複数トラップによる平均捕獲頭数）では、「きらら397」は2.2頭、「ほしのゆめ」は1.2頭に相当する。
 - ③ ジノテフラン液剤、エチプロール水和剤F、スルホキサフロル水和剤Fを使用し、基幹防除を出穂期7～10日後の1回散布とした場合も、散布の5～7日後に水田内のすくい取りを行い、上記に準じて追加防除を実施する。
 - ④ 基幹防除に水面施用を実施した場合には、出穂3週目にすくい取り調査を実施し、上記に準じて追加防除を実施する。
- (2) 加害期間は水稻の黄熟期までであり、その後の防除は不要である。

表1 予察灯による成虫の誘殺頭数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7月1半旬	0	6.2	2	2.1	1	9
2半旬	2	23.2	0	1.7	5	10.7
3半旬	15	163.7	28	5.1	84	23.1
4半旬	967	229.6	49	16.3	409	67.8
5半旬	40	288.3	39	19.4	209	138.4
平年数	10		10		10	

表2 水田フェロモントラップにおける誘殺頭数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
7月1半旬	0	1.0	1	1.0	4	4.2
2半旬	0	1.1	0	1.4	2	3.5
3半旬	0.5	2.2	0	1.8	10	4.0
4半旬	11.0	3.1	8	2.2	12	2.9
5半旬	3.0	3.7	7	5.4	34	3.6
平年数	9		10		10	

付記

北海道地方 1か月予報
(7月24日から8月23日までの天候見通し)

令和3年7月22日
札幌管区气象台発表

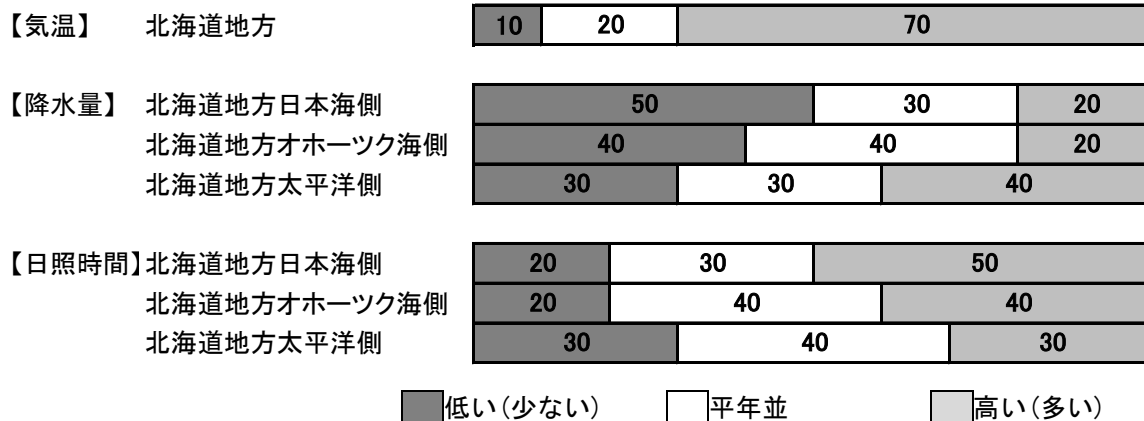
<予想される向こう1か月の気候>

北海道日本海側・オホーツク海側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。北海道太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。

週別の気温は、1週目は、高い確率80%です。2週目は、北海道日本海側で高い確率70%、北海道オホーツク海側・太平洋側で高い確率60%です。3~4週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



<気温経過の各階級の確率(%)>

